



9

8

7

5

1



トータス松本さん

音楽イベントを市民会館で開きたいと、数年前から旧友と話していました。西脇市を盛り上げたいという気持ちで皆さんとつながり、開催が実現しました。復活したホットロックの舞台に立てて感慨深いものがありました。

から12年——。名を「ヘソノオ・ホットロック」と改め、西脇市とヘソノオ・クリエイティブ室が3月7日、イベントを開催。トータス松本さんが市民会館の舞台に帰ってきました。司会を務めた本市出身のお笑い芸人・松本りんすさん（だーりんす）らの登場で開演。高校生を含む市民バンド10組が出演し、昭和時代からホットロックの舞台に立っていた出演者は、青春時代を懐かしみながら楽曲を披露しました。トリのトータス松本さんは、播州織のシャツを着て舞台上がり、ギターの弾き語りで名曲を熱唱。新型コロナウィルス対策で定員を半分にした会場では、歓声の代わりに大きな拍手が送られ、伝説のライブは幕を閉じました。

昭和56年、平成4年に市民会館で開かれていた音楽イベント「ホットロック」。市民バンドが出演し、当時高校生のトータス松本さんも出演していました。平成21年開催の復活イベント

# ヘソノオ・ホットロック

がいせん  
本市出身ミュージシャン・トータス松本さんが凱旋ライブ



【写真解説】①市民会館の舞台に立つトータス松本さん②イベントのポスター③サンテレビがインターネットで配信④イベントのために音響設備を設営⑤⑧⑩⑪⑬市民バンドがオリジナル曲やカバー曲を披露⑥司会の松本りんすさん（右）とヘソノオ・クリエイティブ室の大森康弘さん⑦市のPRにと播州織の衣装を着た市民バンド⑨アンコール後にトータス松本さんが市民バンドとセッション⑫松本りんすさんから質問を受ける高校生バンド